

# 研究公開文書

2022年 4月 11日

<b>研 究 名</b>	外来がん化学療法におけるがん化学療法情報提供書とトレーシングレポートによる情報共有の有効性について
<b>研 究 の 概 要</b>	<p>病院と保険薬局でがん化学療法についての情報共有を行うことによりフィードバックされる情報は、外来がん化学療法中の患者の安全性、QOL向上に寄与することが報告されている。</p> <p>小田原市立病院（以下、当院）でも、2021年6月より外来がん化学療法の治療開始や変更、副作用発現状況などについて、保険薬局に対してがん化学療法の進捗に係る情報提供文書として「がん化学療法情報提供書」を用いた情報共有を開始した。保険薬局はその情報を基に次回受診まで電話などにより継続的な患者フォローを行い、その結果をトレーシングレポート（以下、TR）により病院へ報告し、受信したTRを基に当院薬剤師が医師に対して処方変更や支持療法を提案している。</p> <p>当院におけるがん化学療法情報提供書およびTRによる情報共有の有効性を明らかにすることを目的に探索的な調査を行う。</p>
<b>研 究 対 象</b>	2021年6月1日から2022年5月31日にがん化学療法を実施した患者
<b>研 究 責 任 者</b>	小田原市立病院 診療部 薬剤科 村山 晴夫

<b>研究実施期間</b>	2022年4月11日～2022年5月31日
<b>連絡先</b>	小田原市久野4番地 小田原市立病院 0465-34-3175